

平成28年10月20日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成28年度 第2回 地域経済活性化部会

◆ 10月20日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成28年 第2回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成28年10月20日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：部会長、運営委員、オブザーバー、会員等

◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 多摩川っ子(第9号)発行(7/7)【資料1】
- (2) 多摩川“水”大学講座開催(7/15、9/16)
- (3) 「狛江古代カップ第26回多摩川いかだレース」参加(7/17) ※【資料2】
- (4) 第4回・多摩川親子カヤック体験教室開催(7/23)【資料3】
- (5) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成28年度総会開催(7/27 岩手県)【資料4】
- (6) 東急百貨店よりオリジナルマルチケースの贈呈(8/4)
- (7) 第8回・炭焼き体験と水辺の交流会(8/23)【資料5】 <荒天のため中止>
- (8) 第3回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて(9/1～)【資料6】
- (9) 東急百貨店より第7回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/23)【資料7】
- (10) 第9回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/8)【資料8】
- (11) 多摩川“水”大学講座開催(10/21、11/11)
- (12) 第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/12、11/19、11/26)【資料9】
- (13) 第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/10)【資料10】

4. 意見交換

- (1) 平成28年度下期の活動計画について
- (2) 平成29年度多摩川フォーラム設立10周年記念事業(事務方素案)について【資料11】
- (3) その他

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成28年度第2回地域経済活性化部会を始めさせて頂きたいと思います。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は「独唱バージョン」でお聞き下さい……。本日、はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

（稲城市 都市建設部 土木課長 村山 雅俊 様）

村山と申します。多摩川フォーラムさんは、多岐にわたり、経済、環境や教育文化等の事業を展開しています。私ども土木課は、緑と公園係を所管しておりますので、事業の一部にしか参加できないと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

（奥多摩町 企画財政課長 山宮 忠仁 様）

山宮と申します。10月1日付で、前任の若菜（現教育長）に代わり、就任しました。この場も初めてなので、皆さんに教えてもらうことが沢山あると思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

（西東京バス株式会社 営業部副部長兼営業課長 井上 喜央 様）

初めて参加します、井上と申します。本社は八王子で、主に路線バスを運行しています。営業範囲は、八王子市・あきる野市・青梅市・奥多摩町・山梨県（一部）です。ちょうど多摩川の沿線を走っております。今後ともよろしく願いいたします。

（昭和飛行機工業株式会社 リアルエステート事業部 賃貸施設1部

担当課長 中野 敬三 様）

初めて参加します、中野と申します。私どもは、昭島市の北側40万坪を保有、主に不動産業で、モリタウンやアウトドアビレッジ、ゴルフ、テニス等がございます。多摩川フォーラムさんにおかれましては、フォレストイン昭和館をよくご利用いただいております、有り難うございます。現在、アウトドアビレッジがオープンしてから1年半が経ち、多摩川を含めた「アウトドア」をキーワードに、皆様とぜひ繋がりを持ちたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（昭和飛行機工業株式会社 リアルエステート事業部 賃貸施設1部

係長 田中 和宏 様）

田中と申します。今日は色々と勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしく

お願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、今月12日に開催された教育文化・環境清流合同部会では、部会の冒頭で東京都建設局西多摩建設事務所様よりご講話をいただきました。その際、水難防止を謳った「てぬぐい」が出席者に配られました。本日もご出席の皆さまにも配付させていただきますので、どうぞお持ち帰りください。

それでは、薮田部会長にご挨拶をよろしく申し上げます。

2. 部会長挨拶

(薮田部会長)

今日は、お忙しい中をお集まりいただき、誠に有り難うございます。フォーラムは来年で10周年を迎え、それに向けて部会でも色々なアイデアをいただけてきました。プランは決まりましたので、それを遂行するにあたり、実施する場合の注意点等、ご意見をいただければと思います。8月、9月は色々ありました。オリンピックもありました。東京都でも様々な問題が起こりました。ここに yahoo! の新聞記事もありますが、小池都知事が所信表明で、道路の無電柱化についてや、多摩・島しょ地域の振興策にも触れました。実は、東京都の観光計画を見ると、「小笠原と奥多摩は、エコツーリズムにとって重要な地点である」とあります。小池都知事も、多摩地域の魅力発信に向けて力強くバックアップしてくれるのではないかという期待感があります。我々も大いに歓迎し、これらが更に上手く行けば良いと思います。今日は、手拭いが配られました。「雷様にご注意」と書かれています。我が家には雷が嫌いな犬と孫がいます。雷の話をする、孫が言う事を聞くので、今度、ぜひこの手拭いを鉢巻きにしたいと思います。本日は、忌憚のないお話を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 経過報告

(3) 「狛江古代カップ第26回多摩川いかだレース」参加(7/17) ※【資料2】

(事務局)

- ・ それでは、経過報告に移ります。前回7月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。はじめに(3)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(4) 第4回・多摩川親子カヤック体験教室開催 (7/23) 【資料3】

(事務局)

- ・ 【資料3】をご覧ください。7月23日にサンケイリビング新聞社多摩本部と連携して多摩川親子カヤック体験教室を開催しました。本件につきまして、サンケイリビング新聞社エリア営業部多摩本部の石川編集長様に一言お願いします。

(サンケイリビング新聞 社エリア営業部 多摩本部 編集長 石河 久美 様)

今年初めて、多摩川フォーラムさんと一緒に共催しました。私どもは、毎年夏休みに、親子体験型のイベントを開催しますが、こういった野外でやるものは大がかりですし、指導者がいないと危険も伴いますので、なかなか手を出せずにいたのですが、多摩川フォーラムさんと青梅市カヌー協会さんでは毎年開催している実績もあり、安心してお任せすることができました。誌面で募集したところ、予想通りに人気があり、定員の倍の応募がありました。厳正な抽選の上、当選者を決めました。当日は、受付の30分前から参加者が全員集まるほど、熱気ある状態でした。天気は良くなく、寒かったのですが、子どもたちは楽しそうに、全身ずぶぬれになっていました。社内でも、とても良いイベントであると評価が高かったです。

(5) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成28年度総会開催 (7/27 岩手県) 【資料3】

- ・ 【資料4】をご覧ください。本年7月27日、平成28年度総会が岩手県盛岡市で開催され、平成28年度も、当フォーラムより同協議会へ2,000,000円の拠出金が承認されました。

(6) 東急百貨店よりオリジナルマルチケースの贈呈 (8/4)

- ・ 本年8月4日、東急百貨店様のご厚意により、オリジナルマルチケース1,000個が、当フォーラムに贈呈されました。本日は特別に、皆さまの席上に、ブルーのオリジナルマルチケースをプレゼントさせていただきましたので、どうぞお持ち帰りください。

(8) 第3回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて (9/1~) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。JR東日本さんと連携して作成したチラシです。八王子支社さん管轄の33駅にチラシを設置していただきました。また、大多摩観光連盟さんのご厚意で、「大多摩四季報」の見開き1ページに情報を掲載していただきました。こちらチラシと一緒に駅に設置されています。はとバスさんでも3年連続で「多摩川酒蔵街道」のコース8本を販売していただいています。去年の6月にJR八王子支社さんが企画したお座敷列車が大変好評だったようで、来年も開催を計画しているそうです。

(9) 東急百貨店より第7回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈 (9/23) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。平成28年9月23日、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部454,178円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。贈呈式には、毎年、細野会長にご出席いただいておりますが、当日体調不良のため、急遽、フォーラム事務局の宮坂常務理事が会長代理で出席しました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

(10) 第9回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催 (10/8) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。今年は10月8日に大田区民有志や地元の中学生45名を含む総勢で70名が参加されたほか、フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。なお、イベント当日に集まった桜の植樹募金は、後日改めて大田区から当フォーラムに贈呈される予定です。

(12) 第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11/12、11/19、11/26) 【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。今年の「美しい多摩川クリーンキャンペーン」のポスターになります。今年度は、青梅市御岳会場、多摩市一ノ宮公園会場に加えて、川崎市様のご協力により、新たな清掃会場として川崎市多摩川河口を予定しております。これにより、11月の美しい多摩川クリーンキャンペーン月間に、多摩川上流域、中流域、下流域の3会場で清掃活動を実施することになりました。特に、川崎市会場は初めての開催となりますので、詳細なマップを資料に添えております。一人でも多くの会員の皆さまにご参加いただけたらと存じますので、よろしくお願ひします。因みに狛江市様、川崎市様、小田急電鉄株式会社様、京浜急行電鉄株式会社様、株式会社JTBコーポレートセールス様が今回、新たに参加されることになりました。なお、ポスターにつきましては、今月中に各連携先に配付する予定です。

(13) 第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/10) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。今年は、現在のところ、9組の参加が確定しております。最終的には、10組を目標に、各参加団体と調整中です。つい先日、稲城市若葉台小の親御さんから応募がありました。インターネットで何かを検索中に、当フォーラムのホームページにたどりつき、環境シンポジウムの存在を知ったそうです。今年も新しい人を増やしながら開催したいと思いますので、皆さんもぜひ会場へ足をお運びください。以上で事務局からの経過報告を終わ

ります。

(菟田部会長)

経過報告について、ご質問・ご意見はありますか。先ほど、子ども環境シンポジウムについて、稲城市の若葉台小学校から問い合わせがあったとのことですが、当日までの準備でご苦労されることはありますか。

(事務局)

発表まで、お子さんたちは相当な準備をします。家族ぐるみで準備するケースや、学校のクラス単位で準備してくるケースもあります。発表スタイルは様々で、パソコンや寸劇、紙芝居などもあります。当日は校長先生や担任の先生も見にいらっしや、会場は一体感のある雰囲気となります。

(菟田部会長)

親子カヤック体験教室について、今回はサンケイリビング新聞社多摩本部と連携したとのことですが、今後の開催について、反省点などはありますか。

(石河様)

イベント募集の際、「水に濡れても良い服装」と記載したのですが、実際は全身ずぶぬれになりました。アンケートを集計した時、親御さんから「水に濡れても良い服装では甘すぎる」というご指摘を受けました。その点については、事前の情報不足で反省しております。

(菟田部会長)

有り難うございました。他にご質問などございますか。ないようですので、意見交換に進めます。

4. 意見交換（部会長）

(1) 平成28年度下期の活動計画について

(菟田部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(事務局)

平成28年度上期の活動につきましては、8月23日に予定していた「第8回・炭焼き体験と水辺の交流会」が台風の影響で中止になった以外は、ほぼ計画どおり順調に終了することができました。下期の活動計画についても、経過報告でご説明させて

いただきましたが、ご質問やご意見がございましたら挙手をお願いします。

(藪田部会長)

これまでも天候の影響で中止になったイベントはありますか？

(事務局)

去年の美しい多摩川クリーンキャンペーン（御岳）は、大雨の影響で中止になりました。

(藪田部会長)

有り難うございました。他にご意見・ご質問はございますか。

(藤井様)

席上配布させていただいた、小池都知事の所信表明の記事ですが、やっと本格的な都知事が就任したように感じます。多摩地区の問題についても、多摩川フォーラムから真正面にぶつかっていけば、対応してくれるような気がします。小池さんは、各問題点について、かなりはっきりと、具体的に発言しています。「活気ある東京に欠かすことのできないのが、東京の人口の1／3、面積では2／3を占める多摩・島しょ地域の発展であります。精力的に現地を訪れ、市町村の皆さまとしっかり手を取り合って、オール東京で誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでまいります。」とあります。今までの都知事とは違います。多摩川フォーラムの10年間の実績をぶつければ、動いてくれるのではないのでしょうか。

(藪田部会長)

有り難うございました。従来の都知事と違うのは、実際に多摩に来たということです。そういう意味では本気度が違います。その他、酒蔵街道についてですが、はとバスツアーに参加すると、5蔵のうち1蔵しか楽しめないのでしょうか？

(事務局)

このツアーに参加すると、5蔵を巡らなくても5蔵の飲み比べができ、それが売りになっています。JRが企画したお座敷列車でも、5蔵の飲み比べができました。

(藪田部会長)

東京オリンピックでも、各会場で訪日外国人向けにPRできると良いですね。観光庁が訪日外国人に対して行ったアンケートで、何が不足しているか聞いたところ、**Wi-Fi だそうです。Wi-Fi を使ってリンクさせれば良いと思うのですが、その件で何かお**

考えはありますか。

(青梅市観光協会 水村 様)

青梅市は、カヌーの練習場に指定されました。おもてなしという面では、練習場の提供だけではなく、地酒のおもてなしも良いと思います。また、10周年記念事業でカヌーを取り上げていただき、有り難く思います。

(藪田部会長)

有り難うございました。その他、何かご意見はございますか。西東京バスの井上様、交通の面から、イベントとの関連性について何かお考えはございますか。

(西東京バス株式会社 井上 様)

住宅地においては余り外国人の利用はないのですが、奥多摩駅、御嶽駅については、FIT（外国個人旅行者）が増えています。そのため、バス車内で、英語の「これは〇〇行きです。」というアナウンスを流し始めました。また、運賃の支払い方法についても、車内にポスターを掲示し始めました。

(藪田部会長)

有り難うございました。他に、ご質問やご意見等ありますか。ないようでしたら、美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業（事務方素案）について、事務局から説明してください。

(2) 平成29年度多摩川フォーラム設立10周年記念事業（事務方素案）について【資料11】

(事務局)

【資料11】をご覧ください。これまでに会員の皆さまから部会や運営委員会でもいただいたご意見を整理したものです。これを踏まえ、事務局では基本方針である「美しい多摩川100年プラン」に沿って、10年間の実践活動を総括し、今後10年間の展望して、10周年記念事業の検討を進めて参りました。予算制約のもと、既存事業の見直しも並行的に行い、「10周年記念事業として採択したい候補案件」として取り纏めました。

まず、経済軸では、「多摩川カヌー駅伝大会」です。これは、多摩川フォーラムの企画のもと、本年3月に東京都や多摩川流域6市と連携して実施したもので、その影響の大きさから、東京都はもちろんのこと、国交省や多摩川流域6市からご評価をいただき、会員の皆さまから継続のご要望をいただいている案件です。

次に、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所の選定先等見直しについては、経年劣化の桜があることもあり、この際、八十八カ所の一部入れ替え等の見直しを行う

ものです。

環境軸では、美しい多摩川フォーラムの森（青梅）において、“桜”の記念植樹を行うイベントです。

教育・文化軸では、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会です。

総合軸では、10周年記念シンポジウムを考えました。10年間の実践活動を総括し、今後10年間の展望した内容で検討しています。10周年記念誌発行ですが、発足前後より10年間の足跡を冊子化すると共に、公式ホームページにも掲載したいと考えています。100年プラン・パンフレットの改訂版発行についてですが、10周年記念を踏まえたものとし、さらに、前回発行時以降、フォーラムの事業活動が進化発展しているため、実態に合わせてリニューアルしたいと考えています。シンボルマークの制作ですが、10周年を機に新たに制作し、今後のフォーラム活動に活用できればと考えています。ドローンを活用した多摩川の空撮ですが、桜が咲き誇る春に行い、その映像を様々な事業活動のPRに有効活用したいと考えています。

案件は以上のとおりですが、次に、【資料12】をご覧ください。10周年記念事業費の総額を試算してみました。網掛けの記念事業は平成29年度新たに資金負担が発生するもので、合計で558万円になります。なお、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所の選定先等見直しに伴うマップ改訂、公式ホームページ改訂費用については、平成30年度以降に予算化を検討しているものです。また、美しい多摩川フォーラムの森（青梅）の記念植樹イベントですが、東京都農林水産振興財団の年度計画の中で対応することが当初より想定されているものであり、新たに資金負担は発生しません。シンボルマークの制作ですが、フォーラム法人会員のアルピン株式会社様より、「無償で協力する」とのお申し出がありました。

一方、事業の見直しについてですが、多摩川カヤック体験教室、美しい多摩川フォト教室を中止とし、多摩川子ども環境シンポジウムにつきましては、いろいろ負担の大きい「みんなの発表誌」を平成28年度より中止し、シンポジウムの内容を見直していくことにより、258万円の費用減少となります。以上により、不足事業費は300万円となります。この300万円は、フォーラム事務局で現在検討しておりますが、寄付金ということになれば、ぜひ会員の皆さまにご協力をお願いできればと考えております。なお、【資料12】は、不確定なところがありますので、後ほど回収させていただきます。

(薮田部会長)

まとめると、10周年記念事業として558万円かかるが、費用を削減し、事業の見直しを行い、258万円の費用を削減。しかし、残り300万円についてはどうしようかと検討しているということです。採択したい事業としては、経済が2つ、環境

が1つ、教育文化が1つ、総合的なものが5つになります。今日皆さまからご意見をいただきたいのは、「こういう点に注意すべき、こういう点を目指すべき」等、遂行上のご意見をいただきたいと思います。例えば、「桜の札所・八十八カ所選定先等見直し」とあり、一方で「“桜”の記念植樹イベント」も行うようです。八十八カ所を面で見ているのか、点で見ているのか、詳しく説明してください。例えば、素晴らしい桜が1本あるとすると、それを面で見ると必要はなく、その桜自体がひとつの札所選定先になりえます。あるいは、桜が何本かあり、それが良い景観を醸し出している場合、面として1カ所と捉えることもできます。また、もし桜の記念植樹で、子どもたちが植樹をし、10年経つまでにだんだん大きくなっていきますから、これも八十八カ所の中に入れることはありえると思います。であれば、資料にある「八十八カ所選定先等見直し」は、具体的にどのように進めていくのでしょうか。国立で桜が枯れて、切ってしまったそうです。この件について、樹木医さんは、まだ生かせると判定したそうですが、コストがかかるし、倒れると危ないということが重視されたようです。フォーラムでは、そういうことも考慮しているのでしょうか。見直しについては、どのような手順で行っていくのでしょうか。

(事務局)

国立市の件ですが、一橋大学の前には、南北に非常にきれいなソメイヨシノの桜通り（大学通り）があります。その南端には、東西に「さくら通り」があります。本当は一緒に選定しても良かったのですが、フォーラム発足当時は、関係筋から別々に選定してほしいと言われ、そのようになりました。東西にのびる「さくら通り」については、自動車道に面しているため経年劣化が激しく、また、ソメイヨシノの場合は、劣化すると、太い枝ごと地面に落ちてしまう可能性があり、下にお子さんがいた場合には、圧死してしまう恐れもあります。どちらかと言うと、景観保護より安全重視ということで、国立市は切り倒しを選択しました。これは国立市に限りません。また、当初我々も気付かなかったのですが、こんなに良い桜があるのに何故選定しないのかというご意見もいただいており、こういう状況の中で、コロコロと変える訳にはいきませんが、10年を区切りに入れ替えても良いのではと思っております。それから、「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」では、花粉の出ない杉に植え替える事業を行っておりますが、全体の1/3は広葉樹を植えても良いことになっていきますので、今後、カエデや桜を植えていく予定です。しかしながら、まずは苗木を植えるので、すぐに花見ができるという訳ではなく、10年、20年経ちますと、桜の名所になっていくのではないかと考えています。また、ソメイヨシノの寿命は60～70年と言われており、多摩川の桜の8割はソメイヨシノなので、桜樹の劣化問題は避けて通れませんから、恐らくこれから先10年後には、再び経年劣化等で入れ替えを行う必要が出てくるのではないかと考えています。なお、今回は10周年事業に盛り込みませんで

したが、多摩川夢の桜街道のスタンプラリーを企画できれば、更に多摩地域に人々を回遊させることとなり、交流人口増加に繋がるのではないかと考えています。これについては、次の10年の方向性を見ながら、改めて導入の可否を検討していきたいと、思います。いずれにしても、この10年を境に、取り漏れた名所と、経年劣化し安全面に不安がある札所について、入れ替えを行いたいということです。こうした対応は、今後も継続していきたいと、思います。

(藪田部会長)

有り難うございました。ドローンについては、空から、あるいは川の中から、我々が日頃見ることができない、丁度良い角度で多摩川を見ることができると、いうことですか。

(事務局)

はい。ドローンについては、先ほど「多摩川の歌」の映像をご覧いただきましたが、そこでも空撮が使われています。多摩川を歩く目線と、空撮した映像では、印象が違います。飛行機だと高度が高過ぎますが、ドローンなら水面すれすれの映像を撮ることも可能です。カヌーを漕いでいる映像も、臨場感あふれる映像にすることができますし、川面から多摩川の土手を見る景色も撮影可能です。多摩川の良さや改善点も、映像の中からくみ取ることができればと思います。併せて新たな角度から多摩川を再発見してもらい、我々のPRにも繋げていきたいと考えております。

(藪田部会長)

有り難うございました。シンボルマークについては、アルピンさんからの案が出てきてのお楽しみということですね。五輪の時は色々と騒動がありましたが。フォーラムにふさわしいシンボルマークができれば、我々もバッチを付けながら街を歩くことができるかもしれません。

(事務局)

今日はアルピン(株)の吉澤様にご出席いただいておりますので、シンボルマークの制作について一言お願いいたします。

(アルピン株式会社 統括部長 吉澤 みゆき 様)

マークについては、私どもの代表が、過去のお取引も含めて、フォーラムにご協力できることは何かと、考えた結果、申し入れさせていただきました。デザインについては、色々なご意見もあるかと思いますが、長く愛用できるものをご提供できるよう、ご提案させていただきたいと、思います。

(藪田部会長)

有り難うございました。どんなものが出来上がるのか、楽しみです。【資料11】の最初のページに、見直し候補が3件あります。その中で、「多摩川カヤック体験教室➡多摩川カヌー駅伝大会にリプレース」とありますが、カヤック体験とカヌー駅伝は違うものだと思います。カヌー駅伝は、出場する人に「頑張っってね」と言うものですが、カヤック体験は、主に子どもたちが対象の、初めての体験をする場だと思います。これに関しては、リプレースの理由について、事前にエクスキューズしておいた方が良いと思いますが、どうですか。

(事務局)

例えばですが、カヌー駅伝大会の際、別途、主催者を立てて、開会式の場所で親子カヤック体験教室ができないか、併せて検討しております。

(藪田部会長)

限られた予算で上手くやりくりするということですね。みんなの発表誌の発行中止についても、機関誌発行にお金がかかるということですね？電子ジャーナルのように、PDF化して載せてしまえば、それほどお金がかかりません。遺産として残すべきですし、発行を中止にしてしまうのはどうかと思うのですが。

(事務局)

みんなの発表誌の金額は、ほとんどが版代です。例えば、当日の子どもたちの発表を実際に撮影し、編集していくことも考えています。お金をかけずに事務局でできることは、発表作品そのものをPDF化し、フォーラムの公式ホームページに載せることです。まったく中止にする訳ではありません。

(藪田部会長)

有り難うございました。他にご意見・ご質問はありませんか。

(東京都森林組合 代表理事 組合長 木村 康雄 様)

ドローンについて、これだけの費用で足りるのでしょうか。私どもも現場を空撮しておりますが、とてもこの費用ではできません。多摩川の上流から下流までを網羅して撮るのであれば、もっとお金がかかるような気がします。次に植樹についてですが、適した植樹時期は春か秋です。それを十分に考慮しないと、せっかく植えた苗木が着床せず、枯れてしまいますので、ご注意をいただきたいと思います。

(事務局)

ドローンの費用は、今とても需要があり、金額がどんどん上がっています。確かにこの金額で多摩川を網羅するのは難しいと思っております。そのため、324,000円の範囲内で、どこまで映せるのか、調整していきたいと思っております。ドローンは、1回で20分ほど飛ばして、5～10万円かかります。また、1日に撮影場所を移動できるのは4地点までとのこと。しかし高度によっては、一度に広範囲を撮影できますので、工夫をしていきたいと思っております。次に桜の植樹の時期ですが、春は色々な事業が立て込んでいますので、秋に実施したいと考えております。

(菽田部会長)

有り難うございました。(3) その他について、事務局から何かありますか。

(3) その他

(事務局)

次回の会議の予定ですが、11/2(水)に運営委員会を開催し、それを踏まえて12/16(金)の三部会合同部会では、もう少し踏み込んだお話ができると思いますので、皆さまからご意見をいただければと思います。三部会合同部会終了後は懇親会がございますので、ぜひご参加ください。

(菽田部会長)

有り難うございました。席上配布された金融ジャーナルの記事「フォーラム活動で促す交流人口の増加」ですが、厚生労働省の2040～2050年の予想を見ると、稲城市の人口が増え、増加率は全国で2番目になると予想されています。しかし全体的に見れば、トレンドとしてはここに書かれているように、八王子市、立川市、昭島市が増えても、奥多摩町、檜原村が減るのは、避けて通れないと思います。従って我々は、交流人口を増やすことで全体の底上げを行うということです。所得に関しても、都市部から地域への所得移転が大切です。桜の札所をネットワーク化することについても書かれていますので、後で読んでください。

5. 総括・閉会(部会長)

(渡邊部会長)

今日はお忙しい中、ご来場いただき有り難うございました。12月にも部会がありますので、それまでアイデアを温めておいていただければ幸いです。今日は有り難うございました。

以上